



# 基礎ゼミ 社会福祉学

與那嶺 司 ・ 渡辺 裕一 ・ 永野 咲 [編]

(武庫川女子大学心理・社会福祉学部教授) (武蔵野大学人間科学部教授) (武蔵野大学人間科学部准教授)

## ◎本書の内容◎

はじめに

序章 「生きづらさ」とは何か？

——生きづらさに向きあう実践の学(與那嶺司)

## 人々の生きづらさに触れ、支える営みを学ぼう！

- 各章の問いから、社会福祉学の視点を知る
- 仲間と議論し、何ができるかを考える
- ワークシートで、論点や意見を整理する
- 個人の生きづらさを、社会との関係から捉える

## 第Ⅰ部 生きづらさのリアルに迫る

第1章 夏休みにやせる子どもがいるのはなぜ？

——子どもの権利、格差、子どもの貧困(谷口由希子)

第2章 集落に住みつけるのはなぜ難しい？

——コンパクトシティ、周縁化集落、地域住民のエンパワメント(渡辺裕一)

第3章 認知症になると何もわからなくなるの？

——認知症、意思決定支援、権利擁護(綾部貴子)

第4章 なぜ人がもののように売られるの？

——人身取引、児童労働、外国人労働者の搾取(南野奈津子)

## 第Ⅱ部 「排除」のある社会を問う

第5章 なぜ路上で暮らす人がいるの？

——居住、貧困、社会的排除(野田博也)

第6章 障害者はなぜ施設に住んでいるの？

——優生思想、出生前診断、脱施設化(岡崎幸友)

第7章 好きになる性は異性だけなの？

——性的マイノリティ、異性愛主義、パートナーシップ制度(柳姫希)

第8章 虐待された子どもはどうなるの？

——社会的養護、子ども虐待、ライフチャンス(永野咲)

## 第Ⅲ部 支えるという営みを考える

第9章 罪を犯した人は幸せになっていいの？

——地域生活定着促進事業、ソーシャル・スキルズ・トレーニング、幸福追求権(木下大生)

第10章 被災者の命と暮らしをどう支えるのか？

——被災者支援、危機介入、レジリエンス(山本克彦)

第11章 難民の暮らしは誰が支えるの？

——在留資格、人間の安全保障、グローバル・イシュー(添田正揮)

第12章 多文化共生社会にどう向きあうべきか？

——マイノリティ、同化政策、脱植民地化思考(岡田ヴィンス)

終章 これからの社会福祉学はどうなるの？

——変わりゆく社会で人々が幸せに生きるために(渡辺裕一)

ワークシート

巻末資料


引用文献

索引



誰もがしあわせに生きられる社会って、どんな社会？  
 どうすれば実現できるの？ 私は何をすればいい？  
 本書を読めば、困難に直面する人が、社会とどんなつながりを持ちうるかを、探究できます。自分で考えるのはもちろん、仲間と一緒に考えることも、筆者の考察から学ぶこともできる、体験型入門書！

■ トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。  
 トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『基礎ゼミ 社会福祉学』 與那嶺司・渡辺裕一・永野咲 [編]		書店印
定価 1,980円 (10%税込) 2023年11月刊行 A 5判・並製/184頁 ISBN978-4-7907-1787-4		
お名前	ご注文冊数	冊
 <b>世界思想社</b> 〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707		